

2016.12.8 エコプロ2016同時開催シンポジウム
「世界のグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向」



横浜市における グリーン購入の取組 ～調達目標100%を目指して～

横浜市環境創造局環境保全部
環境エネルギー課長 越智洋之

目次



1

横浜市の紹介

2

横浜市におけるグリーン購入の取組

3

課題

4

課題解決に向けた取組

1. 横浜市の紹介



- 面積:435km²
- 人口:373万人
- 事業所数:12万社
- 市内総生産:12.7兆円
- 異国情緒あふれる国際港



横浜の魅力



Chinatown



Minato Mirai



**Yokohama Port Opening
Memorial Hall**



**Yamate Diplomat's
House**



Sankeien Garden



Zoorasia Yokohama

2. 横浜市におけるグリーン購入の取組

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」に基づき、横浜市の基本方針を作成し、平成14年度より取組開始

横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針

- 価格や品質などに加え、環境保全の観点を考慮すること
- 調達総量を出来るだけ抑制するよう、物品等の合理的な使用に努めること
- グリーン購入の推進を理由として、調達量が増加しないよう配慮すること
- できる限り**特定調達物品等**を調達すること

横浜市独自項目を盛り込む

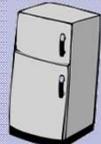
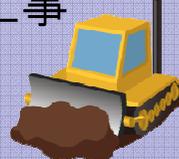
横浜市グリーン購入の推進を図るための調達方針

特定調達物品等の調達目標、実施状況調査を定義

目標調達率100%

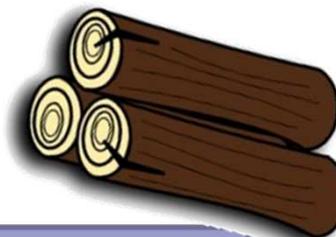
特定調達物品等

基本的に国の特定調達物品等に準拠。一部に横浜市独自項目や判断基準を設定

<p>紙類(2)</p>	<p>文具類(2)</p>	<p>オフィス家具等(10)</p> 	<p>画像機器等(10)</p> 	<p>電子計算機等(4)</p> 
<p>オフィス機器等(5)</p> 	<p>携帯電話等(3)</p> 	<p>家電製品(6)</p> 	<p>エアコンディショナー等(3)</p> 	<p>温水器等(4)</p>
<p>照明(5)</p> 	<p>自動車(5)</p>	<p>消火器(1)</p> 	<p>制服・作業服(3)</p> 	<p>インテリア・寝装寝具(11)</p>
<p>作業手袋(1)</p> 	<p>その他繊維製品(7)</p>	<p>設備(6)</p> 	<p>災害備蓄用品(10)</p> 	<p>公共工事(62)</p> 
<p>役務(18)</p> 	<p>横浜市から排出される廃棄物を利用した再生材等の使用(6)</p>	<p>分類数:22 品目数:273</p>		

木質オフィス家具等

シックハウス症候群予防という健康的視点を入れた
判断の基準を設定



国

材料からのホルムアルデヒドの放
散速度が、

0.02mg / m³h以下

日本農林規格(JAS)、
日本工業規格(JIS)

F☆☆☆☆

厳しい
基準!

横浜市

材料からのホルムアルデヒドの
放散速度が、

5 μg / m³ h以下
(0.005mg / m³h)

日本農林規格(JAS)、
日本工業規格(JIS)

F☆☆☆☆

「横浜市公共建築物シックハウス
対策ガイドラインマニュアル」に盛り込む

■横浜市の独自判断基準 自動車



横浜市公用車導入要領に基づき、特に導入していきべき車両を優先調達できるよう促している

【判断の基準】

新しい技術の活用等により従来の自動車と比較して著しく環境負荷の低減を実現した自動車であって、次に掲げる自動車であること

■電気自動車

■プラグインハイブリッド自動車

■燃料電池自動車

■九都県市指定低公害車

優先
調達



九都県市指定低公害車ラベル



横浜市公用車FCV

■ 横浜市の独自項目

横浜市から排出される廃棄物を利用した再生材等の使用



- 溶融スラグを利用した再生路盤材
- せん定枝等利用の土壌改良材（はまっ子ユーキ）
- せん定枝等利用の生チップ
- 下水道工事等で掘削した土に下水汚泥焼却灰を混合して良質な埋戻し材とした改良土
- 下水汚泥焼却灰を混合して製造した人工軽量盛土材
- 下水汚泥焼却灰を混合して製造した人工軽量骨材



はまっ子ユーキ



改良土フロント

(参考)環境配慮に向けた横浜市独自の取組



横浜市グリーン電力入札制度

温暖化対策を進めていくために、本市の電力需給契約に関する入札に、発電に伴う環境負荷を可能な限り低減し、電力使用に伴うCO₂排出量削減の取組につながるような環境条件を設定することで、電気事業者に対して、環境に配慮した電力供給を行う方向に誘導する制度（平成18年度より導入）

項目(配点)	得点	ランキング
CO ₂ 調整後排出係数 (40点)	70点以上	A または A-
再生可能エネルギーの 導入状況(20点)	70点未満 50点以上	B または B-
未利用エネルギーによる 発電量割合(20点)	50点未満	C または C-
環境貢献度 (20点) ※本市独自の項目	以下の4項目について、電気事業者の取組状況の有無を評価 (ア) 環境マネジメントシステムの導入状況 (イ) グリーン電力証書の購入状況 (ウ) 省エネルギーの働きかけの状況 (エ) 環境報告書の発行状況	

※環境貢献度の配点がない場合は「-」表記

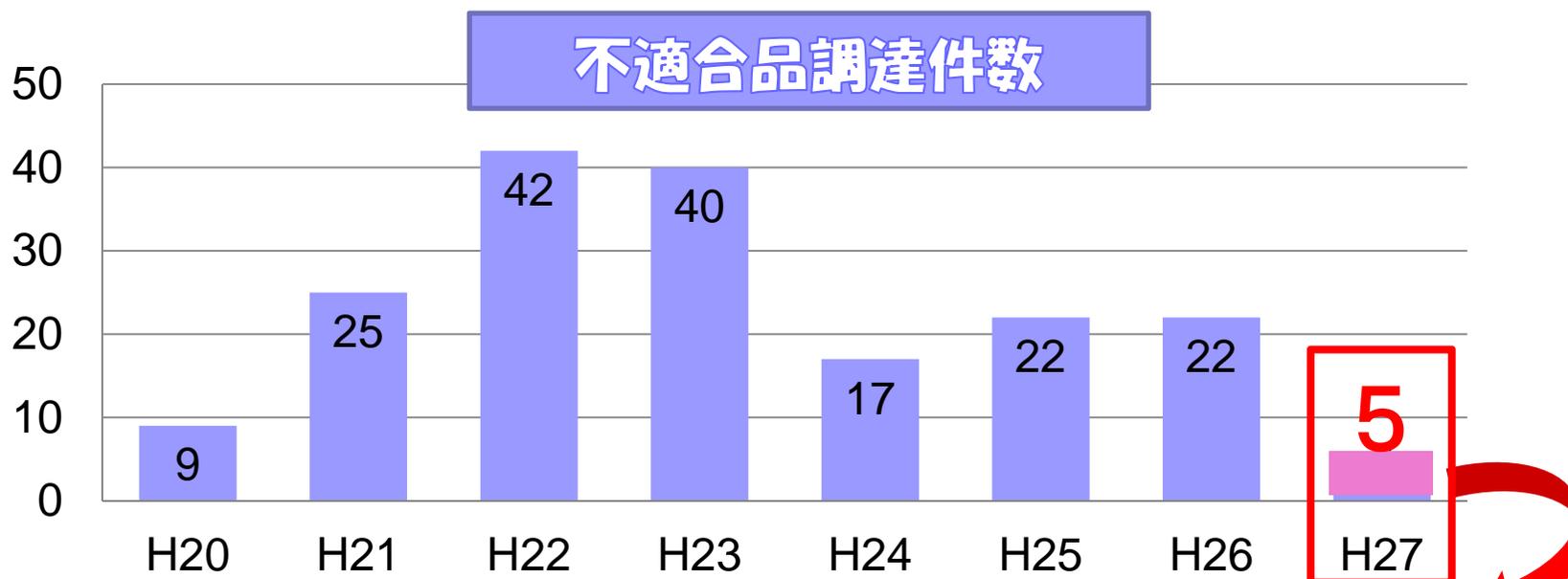
グリーン購入実績状況調査



- 不適合品調達調査（毎年2回）
- 全数調達調査（4年に1回）



庁内外公表



分野・品目		不適合品調達数	所属	不適合品調達の理由
オフィス家具等	いす	7脚	国際局	価格を優先したため
		1脚	南区	価格を優先したため
	机	1台	国際局	適合品を見つけられなかったため
オフィス機器等	掛時計	1台	市民局	価格を優先したため
公共工事	製材等(合板)	81m ³	建築局	工期に間に合わせるため

取組に対する評価

グリーン購入ネットワーク（GPN）が全国の自治体におけるグリーン購入の取組度を評価した結果において、**1位を獲得**

（評価項目）

- ・「調達方針」もしくは「各種計画等での位置付け状況」のうち、いずれかが「○」であれば1点
- ・「組織的实施状況（分野別）」について、「○」のついた分野数×1点（満点は21点）
- ・「8割以上購入している分野数」の数×1点（満点は19点）

団体		評価項目		
都道府県	地方公共団体名	調達方針の有無	組織的取組分野数	8割以上購入している分野数
北海道	北海道	1	21	19
北海道	猿払村	1	21	19
宮城県	仙台市	1	21	19
山形県	東根市	1	21	19
埼玉県	久喜市	1	21	19
千葉県	市川市	1	21	19
神奈川県	横浜市	1	21	19
神奈川県	山北町	1	21	19
福井県	福井県	1	21	19
長野県	長野県	1	21	19
岐阜県	多治見市	1	21	19
長崎県	長崎県	1	21	19
長崎県	長崎市	1	21	19

調査結果

1位は13自治体

うち組織規模が大きな
都道府県・政令指定都市

横浜市



北海道
福井県
長野県
仙台市

3. 課題

■ 人事異動に伴う担当者変更への対応

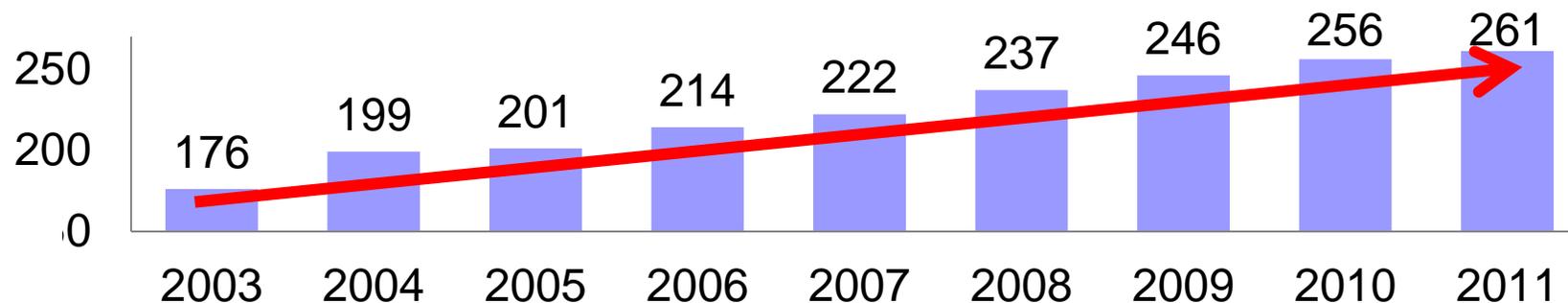
4月の人事異動に伴い、グリーン購入に対する知識が少ない職員が担当となるケースが多く、基本的な内容の問い合わせが増加し、グリーン購入適合品の調達を維持することが厳しい

- ・職員数 25,765人(2015年)
- ・異動者 1,947人(2016年)
- ・新採用者 947人(2016年)



■ 特定調達品目拡大や判断基準変更への対応

年1回、国の特定調達品目改定があり、庁内への周知徹底が困難



国の特定調達品目数

4. 課題解決に向けた取組

① 人事異動に伴う担当者変更への対応



集合研修

新規担当者数が非常に多く、集合研修は困難

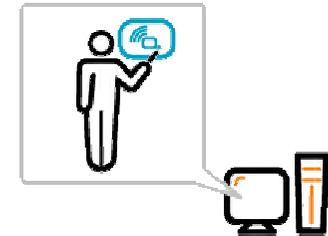


Eラーニング研修

職場のパソコンから 研修受講ができる学習システム

課題

**業務多忙により準備時間が不足！
外注する予算獲得が厳しい！**



環境省グリーン購入・環境配慮契約実務支援事業

国が目的達成まで個別課題にフォローしてくれる事業を利用

現状把握
事例紹介
取組支援



達成

①人事異動に伴う担当者変更への対応

eラーニング研修構成



制作期間：平成27年11月～平成28年3月

グリーン購入研修
～購入を通して環境負荷を削減するために～
(1) 基礎編
横浜市 環境創造局 環境エネルギー課
平成28年3月

- ・支援により制作
- ・10分間



グリーン購入研修
～購入を通して環境負荷を削減するために～
(2) 実務編
横浜市 環境創造局 環境エネルギー課
平成28年3月

- ・横浜市制作
- ・10分間

ナレーション

支援により録音

エシカル協会代表・
フリーアナウンサー

末吉 里花 氏



キャラクター

支援により利用



グリーン購入キャラクター
ばっくん・がまこちゃん

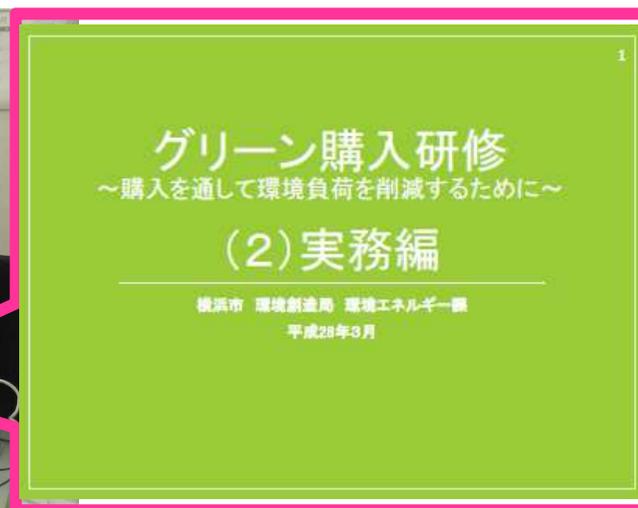
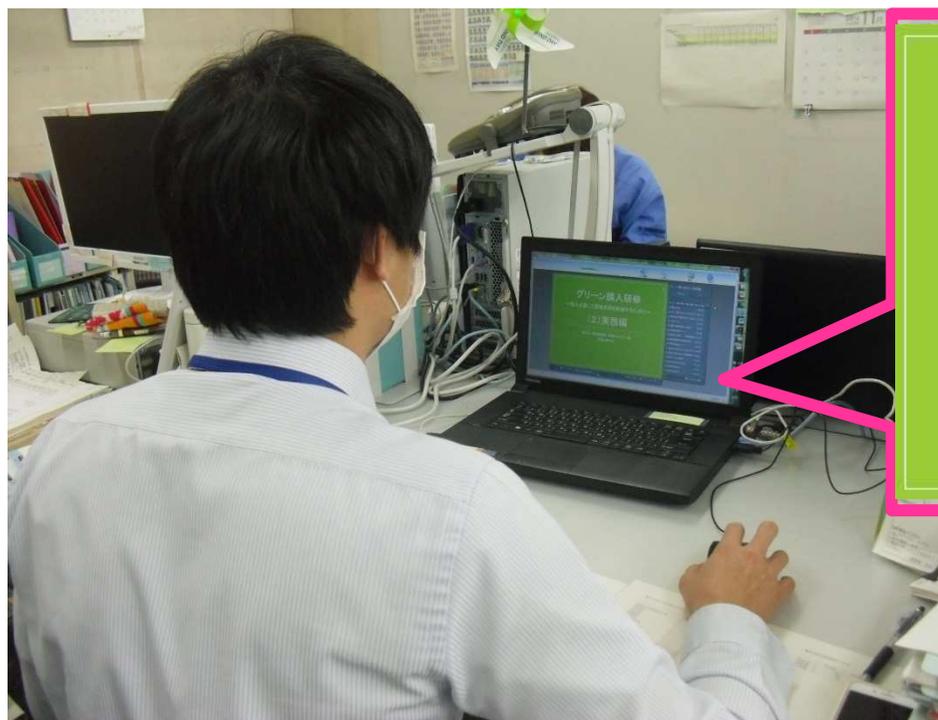


①人事異動に伴う担当者変更への対応

eラーニング実施による効果



- ◆対象者 新任経理担当者（必須）
新任物品購入担当者（必須）
ほか希望者
- ◆受講可能期間 平成28年5月16日～7月29日
- ◆受講時間 基礎編10分・実務編10分 合計20分
- ◆**受講者数 985人（基礎編505人、実務編480人）**



①人事異動に伴う担当者変更への対応

eラーニング研修アンケート結果



ほぼすべてのアンケート回答者が「良く分かった」「分かった」を選択

寄せられた個別意見

非常に**良**
い制度だ
と思った

難しく**考**
えていたこと
が多い

適度な
時間設定
だった

制度の
効果が分
かった

アナウン
サーの**声**
がいい

②特定調達物品の拡大や判断基準変更への対応

グリーン購入通信の発行

庁内イントラネットのトップページに掲載し、判断基準の変更等を伝える

- ・調査実績から今後取り組んでほしいことを伝える
- ・判断基準の改定内容をわかりやすく伝える
- ・目を引くクイズ構成で楽しく身に付ける



目を引く
クイズ構成で
楽しく
身に付ける

判断基準の
改定内容を
わかりやすく
伝える



ご清聴ありがとうございました

横浜市グリーン購入ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/ondan/green/>

